



昭和55年 保健センター開設(現 保健センター分館)
町民の健康保持、健康増進を推進する拠点として設けられました。



昭和54年 中央公民館・勤労青少年ホーム開設
教育・文化・スポーツなどの各種事業を行う拠点施設として設けられました。

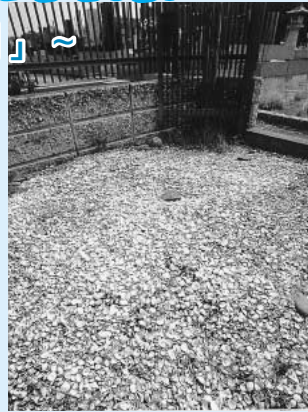
白岡の地名由来

～「白い鳩の舞遊びし岡」～

～「白く光り輝く岡」～



白岡八幡宮



正福院貝塚

由来は

2つの説があります。

1つは、白岡八幡宮の縁起によるもので「慈覚大師円仁がこの地(白岡)に来て、阿弥陀薬師を祭祀勧請の折り、慈覚大師円仁の御前に三羽の白い鳩が飛来し、舞遊びました。その様子をご覧になって、慈覚大師円仁が『白い鳩の舞遊びし岡』、つまり白岡と命名した」とあります。

もう1つの説は、地形的に白岡付近を見たものです。白岡付近は大宮台地の白岡支台とよばれる台地が連なります。ちょうど白岡八幡宮の北側にある正福院貝塚の様子から命名されたという説です。この一面の貝塚の貝が光り輝く様子を元荒川から眺めたときの光景が「白く光り輝く岡」ということで白岡になったという説です。

歴史上初めて現れる「白岡」

白岡という地名が史料に現れるのは古く、中世の天文年間(1532～56)の書き物に「白岡薬師堂」とあります。また、徳川家康が白岡の興善寺に送った寺領寄進状にも「白岡郷拾五石」などの記載が見られます。



昭和59年 コミュニティセンター・児童館開設(現西児童館)
心触れ合うコミュニティを行う住民活動の拠点として設けられました。



昭和62年 新白岡駅開業
国鉄として最後の開業駅となりました。

昭和(町の主な出来事)

63年	62年	60年	59年	59年	57年	57年	57年	56年	55年	54年	54年	53年	52年	51年	50年	48年	白岡町50年の歩み					
施設「ありの実館」開設	心身障害者地域デイケア	新白岡駅開業	西保育所開設	花「梨花」を制定	町民憲章、町の木「松」、開館	児童館(現 西児童館)	コミュニティセンター	老人福祉センター開設	南中学校開校	高岩浄水場完成	大山民俗資料館開設	(現 保健センター分館)	白岡町保健センター開設	白岡駅東口開設	ホーム開設	中央公民館・勤労青少年ホーム開設		西小学校開校	県立白岡高等学校開校	消防署庁舎完成	南小学校開校	千駄野保育所開設



平成11年 B & G財団白岡海洋センター（現 白岡町 B & G海洋センター）オープン
白岡町とブルーシー・アンド・グリーンランド財団（略称 B & G財団）が共同で建設しました。



平成9年 総合運動公園オープン



平成元年 勤労者体育センター開設
主として勤労者のためのスポーツ・レクリエーション施設として開設されました。

これまでの歩みに感謝
そして未来へ

白岡町が誕生して半世紀（50年）がたちました。この間、皆様のご協力により町は飛躍的に発展することができました。

これからも、町民の皆さんが住みやすい、まちづくりを展開していきたいと思ひます。



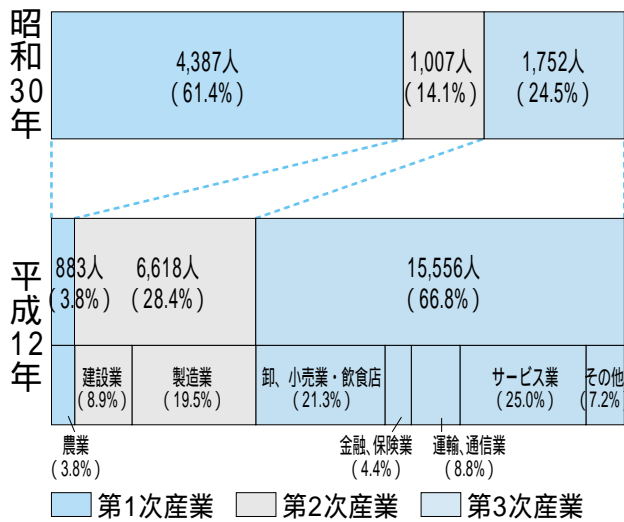
平成16年 白岡町保健福祉総合センター（はびすしらおか）オープン



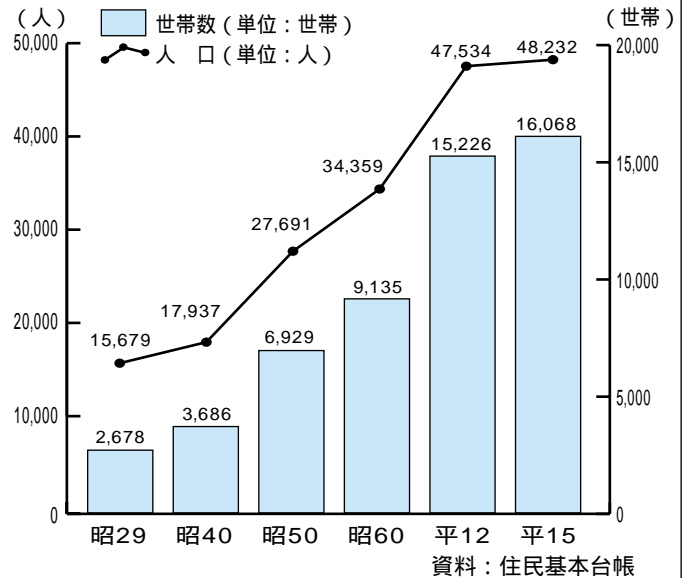
平成15年 しらおか味彩センターオープン

データで見る白岡町の50年

就業構造の推移



人口・世帯の推移



平成（町の主な出来事）

年	出来事
16年	白岡町保健福祉総合センター（はびすしらおか）オープン
15年	しらおか味彩センターオープン
14年	第3次白岡町行政改革大綱を策定
14年	第4次白岡町総合振興計画策定
13年	白岡駅自由通路の東西階段にエスカレーター使用開始
12年	在宅介護支援施設オープン
11年	町内循環バス運行スタート
11年	B & G財団白岡海洋センター（現 白岡町 B & G海洋センター）オープン
10年	高岩保育所オープン
9年	「東ありの実館」開設
9年	総合運動公園オープン
7年	白岡東小学校開校
6年	ふれあいの森公園完成
5年	町立図書館開設
4年	白岡駅西口に役場連絡所開設
4年	現在の白岡町庁舎完成
3年	公共下水道供用開始
2年	白岡中学校開校
元年	勤労者体育センター開設